

庁舎耐震診断業務委託診断現況結果 (速報値) について

平成27年12月15日

嘉麻市総務課

嘉麻市庁舎耐震診断業務委託診断 現況結果（速報値）について

本調査は各庁舎の老朽化に伴う耐震診断を公益財団法人 福岡県建設技術情報センターに委託したものです。

現地調査に基づき耐震診断を行い、耐震性の判定においては、「I s 値」及び「Ctu・SD 値」の数値により判定を行います。

また、用途指標 U については、建物の用途などによる補正係数で、建物の用途に応じて、それにふさわしい耐震性能の要求水準の相対的な関係を定めたものです。

用語解説

- I s 値・・・建築物の耐震性能を表す指標（構造耐震指標）
- Ctu・・・建築物の終局限界における累積強度指標（累積強度指標）
- SD・・・建築物の形状を表す指標（不整形な建築物の耐震性能を減じる値）
- Ctu・SD 値・・・Ctu 値と SD 値をかけたもの
- 用途指標 U

官庁施設の総合耐震診断・改修基準の場合、災害時の応急対策活動拠点施設など、特に耐震安全性を高めることが必要な施設についての係数

建築物の用途	用途指標 U
大地振動後、構造体の補修をすることなく建築物を使用できることを目標とし、人命の安全確保に加えて十分な機能確保が図られている。 ※近隣市町村（飯塚市・田川市・桂川町）でも、庁舎の判定基準は用途指標 U=1.5を使用している。	1.5

耐震性の判定基準「I s 値」

I s 値とは、耐震診断により建物の耐震性を示す指標であり、国土交通省が示す安全の目安として、一般的な建物については、I S 値 0.6 以上が倒壊等の危険性が低いものとされています。

I s 値 0.6 以上 倒壊又は崩壊する危険性が低い。

I s 値 0.3 以上 0.6 未満 倒壊又は崩壊する危険性がある。

I s 値 0.3 未満 倒壊又は崩壊する危険性が高い。

今回の耐震診断については、応急対策活動拠点施設としての機能を考慮し、一般的な建物の基準に、用途指標としての係数 1.5 を乗じて、耐震判定基準を算出し、下記の判定基準により、耐震判断を行っています。

判定基準 : I s 値 > 0.9 Ctu・SD 値 > 0.45

I s 値の判定指標 = 0.9 = (0.6 (一般的な建物) × 1.5 (用途指標))

Ctu・SD 値の判定指標 = 0.45 (0.3 (一般的な建物) × 1.5 (用途指標))

耐震診断においては、「I S 値」及び「Ctu・SD 値」のどちらか一方でも NG 判定（基準以下の数値）になれば総合判定は NG となります。

各庁舎の耐震診断結果（速報値）については、以下のとおりです。

- 稲築庁舎の診断結果 NG
- 山田庁舎の診断結果 NG
- 嘉穂庁舎の診断結果 NG
- 碓井庁舎の診断結果 NG

各庁舎の診断結果について、数値の一番低かったものを表示しています。

○ 稲築庁舎の診断結果

- ・ 一部を除き、1階2階ともほぼ全てにおいてNGとなっている。

Is値	判定	CtuSD 値	判定	総合判定
0.56	NG	0.48	OK	NG

○ 山田庁舎の診断結果

- ・ 1階及び2階が基準以下でNGとなっている。

Is値	判定	CtuSD 値	判定	総合判定
0.82	NG	0.68	OK	NG

○ 嘉穂庁舎の診断結果

- ・ 1階及び地下1階が基準以下でNGとなっている。

Is値	判定	CtuSD 値	判定	総合判定
0.63	NG	0.53	OK	NG

○ 碓井庁舎の診断結果

- ・ 碓井庁舎については、1階の一部が基準以下でNGとなっている。
- ・ 住民センター文化ホールについては、ステージ側以外が基準以下でNGとなっている。

碓井庁舎

Is値	判定	CtuSD 値	判定	総合判定
0.89	NG	0.75	OK	NG

住民センター文化ホール

Is値	判定	CtuSD 値	判定	総合判定
0.42	NG	0.2	NG	NG

災害時の応急対応活動拠点施設を想定した各庁舎における I s 値について

